

〔事業計画〕

ア 進路指導施設設備の設置計画

事業名	事業主体	昭和40～45年度		昭和46～50年度	
		事業内容・事業量	事業費	事業内容・事業量	事業費
進路指導施設設備	市町村	中学校150校に設置 1校の設置費 施設700千円(105,000千円) 設備300千円(45,000)	千円 150,000	中学校126校に設置 1校の設置費 施設(88,200千円) (同左)設備(37,800)	千円 126,000
	県	高等学校60校に設置 1校の設置費 施設700千円(42,000千円) 設備300千円(18,000)	千円 60,000	高等学校34校に設置 1校の設置費 施設(23,800千円) (同左)設備(10,200)	千円 34,000

イ 進路指導講座

事業名	事業主体	昭和40～45年度		昭和46～50年度	
		事業内容・事業量	事業費	事業内容・事業量	事業費
進路指導講座	県	対象人員 400名 単年度計画 参加人員 100名 会場 2会場 単年度事業経費 1,000千円 期間内の事業費 1,000×4	千円 4,000	対象人員 500名 単年度計画 参加人員 100名 会場 2会場 単年度事業経費 1,000千円 期間内の事業費 1,000×5	千円 5,000

ウ 進路指導推進校の指定

事業名	事業主体	昭和40～45年度		昭和46～50年度	
		事業内容・事業量	事業費	事業内容・事業量	事業費
進路指導研究推進校の指定	県	中学校 8校}を指定 高等学校 4校} 1校の補助金 100千円 単年度事業経費 300千円 期間内の事業費 300×4	千円 1,200	中学校 10校}を指定 高等学校 5校} 1校の補助金 100千円 単年度事業経費 300千円 期間内の事業量 300×5	千円 1,500

(4) 入試選抜方法の改善と進学病理現象の解消

〔施策設定の理由〕

ア 指導課の調査によれば、中学校82校のうち、第3学年を対象とする補習授業を実施していない学校はわずか3校にすぎない。週あたり補習授業は3～4時間から17時間以上にあっている。

実施時間も放課後が最も多く74校にのぼっている。週あたり授業時数は普通34時間とみられるが、補習時数を加えると37時間から51時間以上に分布することになる。高校入試等が中等教育の正常な運営の大きな障害になっている。

イ この結果、中学校教育に数多くの病理現象が見られる。事例的に列挙すれば、